

【暫定版】

この資料は「暫定版」としています。

今後、取り組み事例の追加や見直し、また、記載内容を分かりやすく充実するなどして、一般公表する予定です。

河合町の参画と協働の事例について (令和5年11月9日現在)

協働の取り組み事例 (一例)

1. 町×町民

(事例1) 二十歳のつどい開催

(協働のパートナー：二十歳のつどい実行委員会)

二十歳のつどいの開催について、二十歳を迎える町民によるセルフプロデュースを行っています。

式典当日の運営はもとより、イベントの内容や会場設営まで、町民と町職員が一緒になって練り上げていく委員会です。

(事例2) 河合町まちづくり自治基本条例推進委員会

(協働のパートナー：町民(一般公募、団体推薦)))

まちづくり自治基本条例が、常に町政運営及びまちづくり等に活用されているか、また既存の条例・規則、計画等が基本条例と整合しているか、基本条例自体の見直しが必要かなどを、継続して評価検討する第三者機関です。

各種団体推薦や一般公募など、委員 15 名のうち町民 11 名を委嘱しています。

(内訳:学識経験者 2 名、議会代表 2 名、各種団体推薦 6 名、一般公募 5 名)

（事例3）障害福祉計画策定委員会

（協働のパートナー：町民（一般公募、団体推薦））

令和6年度から令和11年度までの河合町の今後の障害施策の計画策定に参画してもらい、町民の多様な意見等を取り入れて計画書を策定する組織です。

全14人の委員のうち町民5人を委嘱しています。

（うち各種団体から3人、一般公募2人）

（事例4）町民大学運営事業

（協働のパートナー：町民大学運営委員会）

社会教育委員代表、スポーツ推進委員、町民大学生代表で組織しています。

住民一人ひとりが自分にあった学習を選び、楽しく学びながらイキイキとした毎日を送る機会を提供するために町民大学講座について企画立案や協議を行っています。

（事例5）文化財保存事業

（協働のパートナー：史跡大塚山古墳群整備検討委員会）

史跡大塚山古墳群の今後の保存と活用と整備について、定期的に会議を開催し検討を行っています。委員には有識者のほかに古墳群の所在する地域の代表者等も加え、地域の意見を反映させています。

（事例6）カフェ豆山の運営

（協働のパートナー：町民）

河合町総合福祉会館内の空きスペースを活用し、コーヒー・紅茶等の飲料や障害者施設で作られたクッキーなどを提供する喫茶スペースを設けています。

会館利用者の休憩場所として、また、家に閉じこもりがちな一人暮らしの方の孤立を防ぐために、『誰もが気軽に立ち寄れる居場所！』をモットーに運営しています。

（事例7）河合パートナーフェロー制度

（協働のパートナー： 町民 ）

町民参加型まちづくりへのひとつの試みとして、河合パートナーフェロー事業を展開しています。町民の皆さんの「できること」を寄せ集め、「待っている人、求めている人」につないでいくマッチングシステムです。

町がコーディネートすることで、人と人、思いと願いが結ばれる。また、互いが必要とするパートナーが見つかることなどが期待できます。

2. 町×大字・自治会

（事例 1）立哨、児童見守り

（協働のパートナー：大字・自治会、PTA、学校）

児童・生徒の登下校時に大字・自治会や PTA 等により児童安全のため立哨活動を実施しています。

（事例2）総合防災訓練

（協働のパートナー：大字・自治会 消防団 自主防災組織等）

町、自治会、消防団、地域の自主防災組織など多くの方の参画により、小学校区単位で総合的な防災訓練を実施しています。

（H25～H30 実施 R1～R2 中止）

（事例3）かわいクリーンデー

（協働のパートナー：大字・自治会）

9月第3土曜日に町内一斉美化活動を実施しています

（事例4）環境緑化樹事業

（協働のパートナー：大字・自治会）

豊かな自然環境の中、緑の保全を守り地域緑化の高揚を図るため、町内自治会に桜等の苗木を提供し植栽活動を行っています。

3. 町×活動団体

（事例1） 自主防災組織の設置、運営

（協働のパートナー：大字・自治会単位での自主防災組織）

地域住民が協力して「自分たちのまちは自分たちで守る」ことを目的に、大字・自治会単位で自主防災組織を設置しています。

現在 9 大字・自治会で設置され、様々な活動が行われています。

（事例2） 文化財保存事業(砂かけ祭り)

（協働のパートナー：砂かけ祭保存会）

河合町指定無形民俗文化財「廣瀬神社の砂かけ祭(御田植祭)」の保存伝承に努め、後継者を育成することを目的とし、目的を達成するために必要な協議や調整を行っています。

（事例3） 文化財等のガイド事業

（協働のパートナー：観光ボランティアガイドの会）

観光ガイドを通じて、河合町の魅力の一つである古墳や文化財などの情報を、小学生から高齢者まで、町内外を通じて発信しています。

文化財担当の生涯学習課と連携を取り、研修会や養成講座を実施するなどスキルアップも図っています

（事例4） 郷土学習推進事業

（協働のパートナー：郷土を学ぶ会）

河合町及び関西近郊の遺跡、史跡、文化を学び豊かな人間形成を醸成するとともに、その活動成果を次代に継承していくことを目的とし、現地学習会、講演会等の主催、機関紙「河合町郷土を学ぶ会ニュース」の発行などを行っています。